

支援計画を策定する際、指導内容や方法の助言などを行うほか、各学校への巡回相談なども行っていく予定です。

町内の小・中学校では、特別な支援を要する児童生徒のために、教師が日ごろの学校生活の中で、サポートを必要とする児童生徒を把握し、どのような支援ができるのかを専門家チームと学校が協力して考え、具体的な対応に取り組むことが求められています。

から 及び町内の小・中学校での取り組みについては、すべて平成19年度から完全実施することではありません。例えば、

町内の小・中学校で現在設置されている「特殊学級」を廃止し、「特別支援教室」にするというのではなく、「柔軟で弾力的な制度の再構築」とあるように、それぞれの地域や学校の実態に応じた段階的に取り組んでいくこととなります。

しかし、名前だけが変わって何も変わらない、ということのないようにするために、地域・家庭・学校が連携して進めていく必要があります。

詳細については、町内各小・中学校又は教育委員会学校管理課 学校教育係（☎7413009）まで。



温泉小学校の防災教育 全国防災協会 から表彰

社

団法人全国防災協会（陣内孝雄会長）の平成19年度通常総会が6月14日（木）札幌市で開催され、その中で、平成19年度防災復旧及び災害防止事業功労者として洞爺湖温泉小学校が表彰を受けました。団体では全国で5団体が受賞。

同小学校では、防災教育の一環で、「緑はどうなった」と題して、噴火後の植生回復について全校でとりくんできました。湖畔で樹木の種を拾って、育てて苗木を作り、それを砂防ダム内に植樹するという活動が評価され、今回の受賞にいたりしました。



する校長に
す藤俊之
賞状を
賞状を
賞状を

育藤俊之校長はこの活動は、植生だけでなく、自分のふるさ

とも再生する活動につながるの
で、意義ある活動だと思ってい
ます。これからも賞の名に恥じ
ないようこの活動を続けていき
たい」と受賞を喜んでいました。

とうや湖踊る社中 今年もよさこい参加 奨励賞受賞



大通り8丁目ステージ

第16回Y SAK Iソーラ ン祭りが、6月6日（水） から5日間開かれました。

町内唯一のよさこいチーム「とうや湖踊る社中」も出場し、ダイナミックで繊細な踊りを披露しました。

今年、初めて大通りパレードに参加し、一次審査で奨励賞を獲得しました。

迫力ある響きに魅了

札幌交響楽団演奏会

5月29日（火）札幌交響楽団演奏会（主催財団法人北海道教職員厚生会・教育委員会）

が、洞爺湖文化センターで開かれ、会場をうめた約600人の聴衆は、迫力あるオーケストラの響きに魅了されました。

当日は、第1部と第2部に分かれ、第1部では、ロッシニの歌劇「どろぼうかささぎ」序曲などコマースヤルで流れていたりと、多くの人が知っている3曲を演奏。

2部では、ベートーベン交響曲第7番を演奏し、約2時間弱の演奏会は終了しました。国内でも有数のオーケストラである札幌の演奏に触れて、皆さん満足の様子でした。



聴衆を魅了した札幌交響楽団演奏会